

## 第46回 役員会 議事要録

日 時：平成25年7月24日(水)13:30~14:30

場 所：北方キャンパス本館 E-512 会議室

出席者：石原理事長、近藤副理事長、利島理事、片山理事、松尾理事、梶原理事、井村理事、中野(昌)監事、中野(昌)監事

### 審議事項

- 1 タイ・タマサート大学との覚書及び学術交流協定について

### 報告事項

- 1 平成25年度北方キャンパス施設整備（進捗状況）について
- 2 夏季オープンキャンパスの実施状況について
- 3 専門職大学院認証評価改善報告書の提出について
- 4 その他

### 審議事項1 タイ・タマサート大学との覚書及び学術交流協定について

配布資料1のとおり、タイ・タマサート大学との覚書及び学術交流協定について説明があった。

### 質疑応答

- この協定を締結することによって事務手続きの負担が増えるのか。
- 協定を結ぶ段階でかなり先方とのやり取りは発生している。後は学生への周知、募集や選考過程など他大学とのやり取り同様に準備の事務の手間としてはかなり増えるが、非常に良い大学なので学生の為にもなるし本学の国際化にも繋がるので、是非とも締結したいと思っている。

### 報告1 平成25年度北方キャンパス施設整備（進捗状況）について

配布資料2のとおり、平成25年度北方キャンパス施設整備（進捗状況）について説明があった。

### 質疑応答

- 本館のE棟の外壁周辺と1号館の耐震改修で1,9億ということだが、それぞれいくらなのか。
- 1号館の耐震改修が5,500万、残りが外壁工事となる。
- 外壁工事は高いのか。
- 足場を組まないといけないので高くなる。足場代が工事費の3割から4割程を占めている。
- 低炭素図書館というのはどのようなものか。
- 屋上に太陽光パネルを取り付けて太陽光発電を一部取り入れたり、屋上の緑化や照明にLEDを使用したりする。
- 電力全てを太陽光で賄えるわけではないのか。
- それをするにはかなりパネルを置く必要がある。
- 予算の振替承認が今季の終わりで行われるが、それは本工事の予算なのか。今の工事に関しては通っているのか。
- 25年度の工事に関しては通っている。ここの予算承認は、26年度から行う一番大きな建設の予算だ。
- 図書館の本館は改修が終わっているが、書庫棟も終わっているのか。

- 書庫棟は昭和 56 年頃の建物（新耐震設計基準に基づいて建築されたもの）なので、耐震されたものとしている。
- 文化財は出そうなのか。
- 昨年、工事予定に近い場所の発掘調査を実施したが、出ていなかったと聞いている。

#### 報告 2 夏季オープンキャンパスの実施状況について

配付資料 3 のとおり、夏季オープンキャンパスの実施状況について報告があった。

質疑応答：なし

#### 報告 3 専門職大学院認証評価改善報告書の提出について

配付資料 4 のとおり、専門職大学院認証評価改善報告書の提出について報告があった。

質疑応答

- 問題点に関しては 7 月末までに回答していて、中長期的に少しずつ改善していけば良いというイメージなのか。
- そうだ。それが「勧告」となると強制的に改善しなければいけなくなる。
- 実際に調査に入ることがあるのか。
- ある。
- 専任教員の配置だとか事務局体制の充実だとか、人が必要な項目に関してはどうするのか。
- カリキュラム等、具体的に指摘された部分に関しては特任教員に協力して頂いて大幅に変更した。特任教員は 5 年になったら入れ替えがあるので、人事を進めるのはかなり大変だが、8 割方解消できたのではないかと思っている。
- 人を増やさずにカリキュラムの見直しで対応したということか。
- そうだ。
- 専任教員は何名いるのか。
- 運営委員会の常任メンバーが 9 名だ。後は経済学部から 1 名、社会システム研究科から 1 名、それとみなし専任と言って専任扱いとなるが非常勤で実務経験を提供して頂くような方がいる。
- 学生が 1 学年 30 名で合計 60 名程度。それに対して教員が十数名では採算が取れないと思うが、質の高い人材を育成できれば目的に合う訳か。
- そうだ。
- 後は評価や成果をどうやるかだ。卒業試験は無いのか。
- NBA を取得する為に修士論文の提出を義務付けている。この論文指導は専任教員のみで行う。そして地域社会に成果を周知する為に、毎年論文の公開発表を行っている。

その他

その他について報告があった。

質疑応答：なし